

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No **600** 事業名 **学校体育事業（新体力テストの実施、外部指導者の配置など）**

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	4	健康教育の充実
基本方針	3	学校体育の充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
担当課・担当課長 (Tel)	スポーツ振興課	高松 通博 (435-1364)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		保健体育費	
	目		体育振興費	
	大事業 事項		体育振興事業 学校体育事業	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） 小・中学校の児童、生徒の体力の向上及び、競技技術の向上を図ることを目的に、各種競技大会を実施することにより、学校体育の育成と振興を図ります。	事業内容 各種競技大会の実施に係る審判報酬金の支出や、公立中学校、市立和歌山高等学校に、専門的な技術指導力を備えた指導者がいない場合に学校の要請を受けて派遣する外部指導者報酬金の支出をしています。 また、中学校総合体育大会に係る派遣補助金等を支出しています。				
	実施内容	平成25年度 各種競技大会の実施 体力テストの実施 小・中学校の全児童、生徒への「(仮)健康・体力手帳」の配布	平成26年度 各種競技大会の実施 体力テストの実施 小・中学校新1年生への「パワーアップチャレンジ手帳」の配布	平成27年度	平成28年度	平成29年度

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	8,350	7,547	7,192		7,192		7,192		7,192	
伸び率 (%)	-	-	-13.9%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	8,308	6,860	6,860	6,860		6,860		6,860	
	非常勤職員									
	小計	8,308	6,860	6,860	6,860		6,860		6,860	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	8,350	7,547	7,192		7,192		7,192		7,192	
所要人数	常勤職員	1.12	0.90	0.90	0.90		0.9		0.9	
	非常勤職員									
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	各種競技大会実施件数	年度目標値			32	32	32	32	32
		実績値			32				
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	100.0%			
	運動部活動外部指導者数	年度目標値			35	35	35	35	35
実績値			28						
単位	人	全体目標値		全体目標達成度	80.0%				
成果指標	小学生の体力テストの全国平均を(数値=50)とした場合の合計点(Tスコア)	年度目標値			50	50	50	50	50
		実績値			47.2				
	単位		全体目標値		全体目標達成度	94.0%			
	中学生の体力テストの全国平均を(数値=50)とした場合の合計点(Tスコア)	年度目標値			50	50	50	50	50
実績値			44.2						
単位		全体目標値		全体目標達成度	88.0%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>各種体育大会を開催することで、児童や生徒の健全育成や、他校児童、生徒との親睦や交流が図れることから、引き続き事業を継続し、生涯にわたり体育スポーツに親しむ基礎を培うことで、健康で豊かな学校生活を送ることができます。</p>
「見直し」「改善」案	<p>事業を最優先事項と捉え、各種競技大会などを開催する中で、小・中学校の児童や生徒の健全な育成が、より一層図れるように改善していく。</p>